

2016年3月

地域づくりネットワーク会議 ニュース ～ 第39号 ～

平成27年度 『(仮称)大江緑道』を活かした 地域づくり団体活動報告会を開催しました！！

地域の人々に親しまれ、さまざまな人々に有効活用される「(仮称)大江緑道」の魅力づくりの方策を検討していくため、地域づくりネットワーク会議を実施しています。

平成 28年 3月15日(火)、『(仮称)大江緑道』を活かした地域づくり団体活動報告会を行いました。その内容や参加者の意見をお伝えします。

■ 平成27年度 『(仮称)大江緑道』を活かした地域づくり団体活動報告会の概要

日 時：平成28年3月15日(火) 13:30～15:30

会 場：アクアワールド水郷パークセンター内パークセンターホール

参加者：アクアワールド水郷パークセンターを中心に海津市内
で活動する団体、事務局 40名

主 催：国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所

■ 討議内容

(1) 第1部 基調講演『近江八幡の水郷・権座を守り育てる』
～水郷を活かした農の里づくり～

権座・水郷を守り育てる会 事務局長 大西實 氏

(2) 第2部 パネルディスカッション

○パネリスト：

権座・水郷を守り育てる会 代表 東房男 氏

海津 堀田の会 会長 後藤純二 氏

海津マルシェ会議 服部誠一 氏

海津市レクリエーション協会 副会長 小山哲也 氏

○コーディネーター：

滋賀県立大学 客員准教授 森川 稔 氏



■ 第1部 基調講演『近江八幡の水郷・権座を守り育てる』

第1部では、共通の地域性をもった先進的な取り組み事例として、滋賀県近江八幡市白王町(しらおうちょう)で活動している「権座・水郷を守り育てる会」をお迎えして、事務局長 大西實様に基調講演を頂きました。

「権座・水郷を守り育てる会」では、舟でしか行くことができない田んぼ「権座(ごんざ)」を舞台に集落営農と地域活性化に取り組んでいます。



▲ 基 調 講 演 の 様 子

■第2部 パネルディスカッション

第2部では、アクアワールド水郷パークセンター内の再生堀田で活動する「海津 堀田の会」、地域特産品を販売する物販イベントを行う「海津マルシェ」、田舟の運行を行っている「海津市レクリエーション協会」に、それぞれの活動内容について報告頂きました。また、着実に整備が進んでいる「(仮称)大江緑道」の活用方法やロマン等について語って頂くとともに、会場からの質疑応答を行いました。意見の概要を以下に示します。

- 農業体験として、現代の農業と伝統的な堀田の両方を体験できる特別な場所になるとよい。
- 海津アクアマルシェでは、イベントを通して交流を図り、実店舗にも足を運んで頂けるよう取り組んでいきたい。それが海津市のPR、地域の活性化にもつながると考えている。
- 大垣の田舟や彦根の遊覧船をみたのをきっかけに、本公園で田舟の運行を始めた。田舟でハスの茂みに入ると、魚や昆虫など様々な生き物がおり、いろんな発見がある。これからも自然と触れ合える体験が出来る場所として活動していきたい。
- この地域にしかないものを大事にしつつ、常に新しい発想で取り組んでいく必要があると思う。
- 本公園で子どもが一日楽しめて、思い出になるような活動をしていきたい。そうすれば、その子どもが大人になった時に、また子どもを連れて訪れてくれるのではないかと思う。
- みんながこの大江緑道に来てもらえるような方法を考えていきたい。
- 大江緑道について幅広く情報発信していく必要がある。堀田の景観など素晴らしいものがここにはある。
- 小さい頃、学校から帰ったあとよく堀田で釣りをした思い出がある。昔からの伝統文化を大切にしつつ、地域活性化に取り組んでもらえればと思う。



▲(コーディネーター)
滋賀県立大学 森川氏



▲(パネリスト) 海津 堀田の会 後藤氏、海津マルシェ 服部氏、
海津市レクリエーション協会 小山氏、権座・水郷を守り育てる会 東氏



▲会場からの質疑・応答



発行：国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 河川公園課
TEL：0594-24-5719
<http://www.cbr.milt.go.jp/kisokaryu/>